

『精神的ジャパニーズドリーム』

～ 理念の革命～

【まえがき】

「精神的ジャパニーズドリーム」とは、新時代にむけての日本の向かうべき指針を、思想の形で述べたものである。

戦後の日本の経済復興は、ある意味で、ジャパニーズドリームの実現であったと言えよう。そして、現在日本は、世界最高水準のGNPを誇る国家となった。

しかし、一方においては、精神の貧窮は進み、精神的GNPという観点から見れば、まだまだ発展途上国であるというのが、私の感想である。

故に、これより日本が目指すべきジャパニーズドリームとは、「精神的ジャパニーズドリーム」とならなくてはならないのである。

「精神的ジャパニーズドリーム」とは、例えば、各学問思想分野においては、「理念」（永遠普遍の価値）を見出してゆくことであり、理念経済学や理念政治学や理念科学等を実現してゆくことであり、各分野を担う人物においては、

「哲人」になってゆくことであり、例えば、哲人経営者、哲人政治家、哲人科学者等を輩出せしめてゆくことである。

さらには、本論の至る所に、「神」という言葉や、「心」という言葉が使われているように、神、神性、心、精神等を中心概念とするジャパニーズドリームこそが、「精神的ジャパニーズドリーム」であると言えるのである。

この「精神的ジャパニーズドリーム」の胎動は、既に始まりつつあるのである。世紀末の日本の様々な困難と見えし暗い世潮の中で、「精神的ジャパニーズドリーム」の到来と、それを担わんとする天才達が数多く出現してゆくことは、大いなる勇気の原理であり、未来への希望そのものである。

まさしく、時代精神は、日本に「新生日本となれ」と呼びかけているのであり、明らかに、「精神的ジャパニーズドリーム」の実現を要請しているのである。

現代を生きて、まだ、その心の内にほのかなうずきを感じながらも、その全体像がつかめないで時代に流されている多くの人々に、私は全身全霊の魂の力を込めて、新時代の精神の炎を灯してさしあげたい。かかる愛の熱情をもって、本書は綴られたのである。

「～によせて」という形で、色々な分野についての各論が述べてあるが、そ

れらは、本来、すべての方にあてて書かれているものなので、どうか、そのすべてを熟読いただきたい。そして、個々の真理を汲み取られると共に、新しき時代精神の全体像を感得していただければ幸いである。

新生日本建設のために、大いなる夢を抱ける新時代の多くの同志達よ、まだ見ぬ同志達よ、どうか、共に「精神的ジャパニーズドリーム」を実現してゆこう。そして、この日本に、必ずや精神的太陽を昇らせようではないか。